

# 資料

1. 上大津地区小学校の適正配置に係る現状等説明会の実施結果・・・P. 1～4
2. 土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会委員名簿・・・・・・・・P. 5
3. 第1回検討委員会の主な意見等について・・・・・・・・・・・・P. 6～7
4. 方策1 通学区域の見直し（案）・・・・・・・・・・・・P. 8
5. 方策2 隣接する学校との統合（想定される統合パターン）・・・P. 9
6. 第2回検討委員会の主な意見等について・・・・・・・・・・・・P. 10～12

## 上大津地区小学校の適正配置に係る現状等説明会の実施結果

1. 開催日時及び参加者数等……………P.1
2. 説明会参加者からの主な質問とその回答……………P.2～3
3. 説明会参加者からの主な意見・要望……………P.4

### 1. 開催日時及び参加者数等

	対象者	開催日時	開催場所	参加者数
保護者	上東小保護者	H29.8.2 (水) 19:00～20:00	上東小 多目的室	17名
	上西小保護者	H29.8.9 (水) 19:00～20:00	上西小 図書室	17名
	神立小保護者	H29.8.3 (木) 19:00～20:00	神立小 図書室	3名
	菅谷小保護者	H29.8.10 (木) 19:00～20:15	菅谷小 図書室	12名
地域住民	上東小地域住民	H29.8.17 (木) 19:00～20:00	上大津公民館 集会室	4名
	上西小地域住民	H29.8.18 (金) 19:00～20:00	上大津公民館 集会室	8名
	神立小地域住民	H29.8.24 (木) 19:00～20:00	神立コミュニティセンター 集会室	10名
	菅谷小地域住民	H29.8.23 (水) 19:00～20:00	上大津公民館 集会室	7名

## 2. 説明会参加者からの主な質問とその回答

質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童生徒数の推計はどのように行っているのですか？ [菅谷・地域]</li> <li>• 新小1の児童推計はどのように行っているのですか？ [神立・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上西小，菅谷小，神立小は現在の児童生徒数及び住基人口を基に推計しています。上東小，五中については，上記の他，H26年度からH28年度までの3年間のおおつ野地区の人口増の状況（社会増）も考慮して推計しています。</li> <li>• H30年度以降の新小1について，H35年度までは現時点の住基人口より推計し，H36年度以降は前年度までの小1児童数の平均値より推計しています。上東小は前述の社会増も考慮して推計しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 適正規模の基本的な考え方（学級数）は地域によって違うのですか？ [上東・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国等が基準を示しており，土浦市もそれに準じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通学区域に基準はあるのですか？ [神立・保護者] [神立・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文科省で「（小学校）おおむね1時間で4km程度」と示されています。</li> <li>• 統廃合で遠距離（直線距離で2km以上）となった児童については，無料のスクールバスで対応します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクールバスの距離基準は，直線距離と実際に歩く距離の違い（直線距離の約1.3倍～1.5倍が実際に歩く距離に相当）を考慮しているのですか？ [神立・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校から直線距離2kmという基準は，国から示された基準（実際に歩く距離で4km以内）を考慮した上で設定しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学区の見直しはあるのですか？ [共通]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学区の見直しには地域の理解が必要と考えています。</li> <li>• 具体的事項については，今後の検討委員会等により協議を行います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 調整区域の解消はしないのですか？ [上西・保護者]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市計画区域の見直しをする予定は現在のところありません。</li> </ul>

※[ ]内に質問者の地区名と保護者，地域住民の別を示す。

※[共通]は，多くの説明会で挙げられた質問を示す。

質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>市は小中一貫教育を掲げていますが、上大津地区にも義務教育学校ができるということですか？ [菅谷・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設一体型，施設分離型を問わず，市内全小中学校を対象にして，小中一貫教育を平成30年度から進めていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>神立小を含めた4校での統合ですか？それとも神立小を除いた3校での統合ですか？ [共通]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上大津地区小学校全体で適正配置の検討を行いますが，4校での統合は，適正規模を超過します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>上大津地区小学校の通常学級のキャパシティはどのくらいあるのですか？ [上東・地域]</li> <li>既存校舎を使用して3校（上東小，上西小，菅谷小）を統合することは可能ですか？ [上西・保護者]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点では，上東小：13学級，上西小：7学級，菅谷小：10学級，神立小：18学級まで対応可能です。その他，特別教室の転用等で普通教室の増加は可能です。</li> <li>既存校舎のままでの3校の統合は不可であり，増改築等の対応を要します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市には小中一貫校を新設する予算があるのですか？ [菅谷・保護者]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後統合パターンをシュミレーションしていく上では，予算も検討課題となります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模校同士で校外活動や学校行事を合同で行うことで，小規模校のデメリットは解消されるのではありませんか？ [神立・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模校のデメリット解消のため効果的ではありますが，日常的な解決には至りません。</li> <li>学校運営（PTA役員等）についても，保護者の負担は大きいままです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の構成メンバー及び話し合いの進め方，周知方法はどのようにするのですか？ [上西・保護者] [神立・地域]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成メンバーは15名程度を想定しています。学識経験者，上大津地区小中学校保護者代表，上大津地区地域住民代表，上大津地区小中学校長で構成したいと考えています。</li> <li>話し合いの進め方としては，今年度から具体的なシミュレーションも交えながら2年間協議検討し，H31年度には方向性を示します。</li> <li>周知については，市教委HPや広報誌等で実施予定です。</li> </ul>

※[ ]内に質問者の地区名と保護者，地域住民の別を示す。

※[共通]は，多くの説明会で挙げられた質問を示す。

### 3. 説明会参加者からの主な意見・要望

	保護者	地域住民
上東小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上東小は教室数が将来足りなくなる問題の外、現在でもグラウンドが手狭である。</li> <li>・暫定的な学区の見直しをした方が良いと思う。</li> <li>・統合校は五中近くが良い。</li> <li>・20年先まで見通して検討すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暫定的な学区の見直しをした方が良いと思う。</li> </ul>
上西小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に小規模校の解消をしてほしい。</li> <li>・上西小を残してほしい。</li> <li>・学区の見直しや調整区域の解消をした方が良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に小規模校の解消をしてほしい。</li> <li>・暫定的な学区の見直しをした方が良いと思う。</li> <li>・どこで統合するのか気になる。</li> <li>・お金のかかる統合校新設は慎重に考えるべきである。</li> <li>・人口（児童）を増やす施策をしてほしい。</li> <li>・土地利用の面など、行政内の各担当部署の横の繋がりが無いように思える。</li> </ul>
神立小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちには大きな動きはないと感じているため、神立小の保護者は関心が薄い。</li> <li>・学校維持のために地域コミュニティを分けないでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間の考えの違いが問題である。</li> <li>・子供目線で検討してほしい。</li> <li>・学童や幼稚園、保育所の充実により子育て世帯が増えると思う。</li> <li>・メガソーラーの敷地面積が大きすぎる。様々な面で影響がでるのではないかと考えている。</li> </ul>
菅谷小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅谷小を残してほしい。</li> <li>・段階的な適正配置をした方が良いと思う。</li> <li>・最終的にみんなが100%納得することは難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅谷小を残してほしい。（学習環境を考慮して適正配置を検討してほしい）</li> <li>・上西小、菅谷小、上東小すべてを存続させてほしい。</li> </ul>
複数の方々からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上西小の対応は早急にした方が良い。</li> <li>・統合校新設を待っていたのでは遅い。</li> <li>・具体的な案を示してほしい。</li> </ul>	

# 土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 役 職 名 等
学識経験を有する者	樋口 直宏	筑波大学人間系 教授 <b>【委員長】</b>
小中学校の保護者の 代表者	吉田 浩正	上大津東小学校PTA副会長
	大塚 忠司	上大津西小学校PTA会長
	池田 知史	神立小学校PTA会長
	池田 陽久	菅谷小学校PTA(平成29年度会長)
	小野 英明	土浦第五中学校PTA会長
小中学校の代表者	尾崎 真里子	上大津東小学校 校長
	吉原 憲夫	上大津西小学校 校長
	濱田 栄一	神立小学校 校長
	※平 田 豊	菅谷小学校 校長
	花 沢 浩	土浦第五中学校 校長 <b>【副委員長】</b>
地域の代表者	武 田 勇	上大津東小学校地区代表(おおつ野地区長)
	小 野 豊	上大津西小学校地区代表(手野町地区長)
	田口 長八郎	神立小学校地区代表(神立中央五丁目地区長)
	久保田 正美	菅谷小学校地区代表(菅谷町地区長)

※平成30年度4月の人事異動により、今年度より就任

## ●第1回検討委員会の主な意見等について

### ○各学校区別の現状などについて

#### (1) 上大津西小

区分	主な意見等
学校	・複式学級の担任は1人だが、授業の仕方については、教頭や教務主任等が入るなど、工夫をして対応している。
保護者	・学校の役員が毎年回ってきており、親の負担が非常に大きい。 ・高学年の児童が低学年の児童の面倒をみってくれるなど、縦の繋がりが強い。 ・児童数が少ないことにより、仲が悪い子が出来てしまった際にその子が孤立するといったことが実際に起こった。子ども達の逃げ道の確保のためにも、早急に児童数を増やす対応をしてほしい。
地域	・地域としては、上西小がなくなることは理解している。
その他	・統合案などを早く出してもらって、統合などをした後のことをもっと検討した方がいい。案は第三者に出してもらいたい。

#### (2) 上大津東小

区分	主な意見等
学校	・新入学児童が年々増加すると予測されているが、空き教室が少なく、グラウンドも手狭で建て増しが難しい。早めに手を打つ必要がある。
保護者	・田村町と沖宿町も人口が減っており、地区の役員が毎年回ってくる状況である。
地域	・おおつ野地区は土地の空き地がまだまだたくさんあり、今後も人口が増えると考えられる。 ・おおつ野地区の自治会が大所帯となっているため、5～8丁目の自治会を2つ（5、6丁目と7、8丁目）に分けることを検討している。
その他	・個人的な意見ではあるが、学校については、おおつ野5、6丁目を上東小へ、7、8丁目をスクールバスで上西小へ行かせてはどうかと考えている。

#### (3) 神立小

区分	主な意見等
学校	・保護者は、上大津地区の適正配置については一步下がり、別であるといった意識が強いと感じる。
保護者	・外国籍の児童が多いため、教育的にはグローバルでいいが、役員等については今後検討が必要である。 ・神立小地区は各地域でのまとまりが非常に強いと感じる。適正配置を進める上でも、このまとまりは維持してほしい。

#### (4) 菅谷小

区分	主な意見等
学校	・菅谷小は学校施設が整っているため、児童数の増加した場合にも対応できる。
地域	・菅谷小は市内の学校の中で一番環境がいいと思う。 ・児童数が減っており、白鳥町の育成会は来年解散せざるをえない状況である。
その他	・個人的な意見ではあるが、神立小を除いた3校で統合し、五中の近くに小中一貫校を新設することも一案である。ただし、これは大変時間を要するため、まず上西小の児童を菅谷小へ行かせ、その後、上東小と統合させるなど、2段階で考えた方がよい。

#### (5) 五中

区分	主な意見等
学校	・現状1クラス30～35人で手狭であり、今後生徒数が増加した場合、教室数不足になる恐れがある。
保護者	・五中では、各小学校区の特色はあるが、まとまりのあるPTA活動を行っている。
その他	・やっと、上大津の適正配置が始まるのかという気持ちである。 ・来年度から始まる小中一貫教育とも連携を図っていく必要がある。

## ●方策1 通学区域の見直し（案）

### （1）上大津西小を適正規模とするための通学区域の見直し（案）

例1： 上大津東小学区の一部（おおつ野七丁目及び八丁目）を  
上大津西小の通学区域とする。



通学区域見直し後の  
児童数及び学級数

	児童数	学級数
上西小	254	11
上東小	230	9

例2： 神立小学区の一部（神立町・神立中央一丁目及び二丁目）を  
上大津西小の通学区域とする。



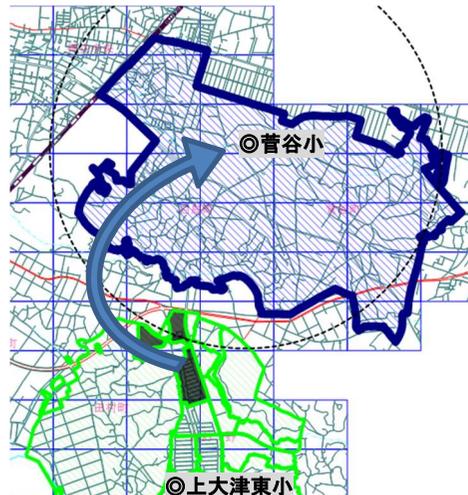
通学区域見直し後の  
児童数及び学級数

	児童数	学級数
上西小	269	11
神立小	272	10

∞

### （2）菅谷小を適正規模とするための通学区域の見直し（案）

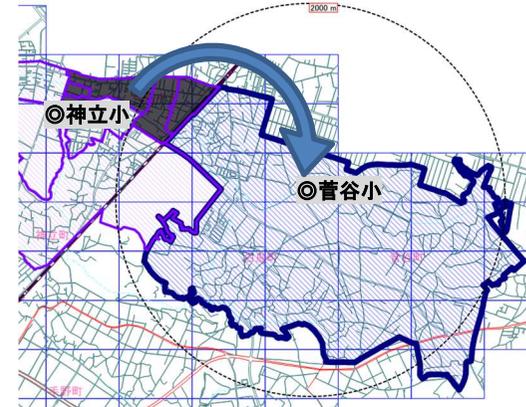
例1： 上大津東小学区の一部（おおつ野八丁目）を  
菅谷小の通学区域とする。



通学区域見直し後の  
児童数及び学級数

	児童数	学級数
菅谷小	256	10
上東小	331	12

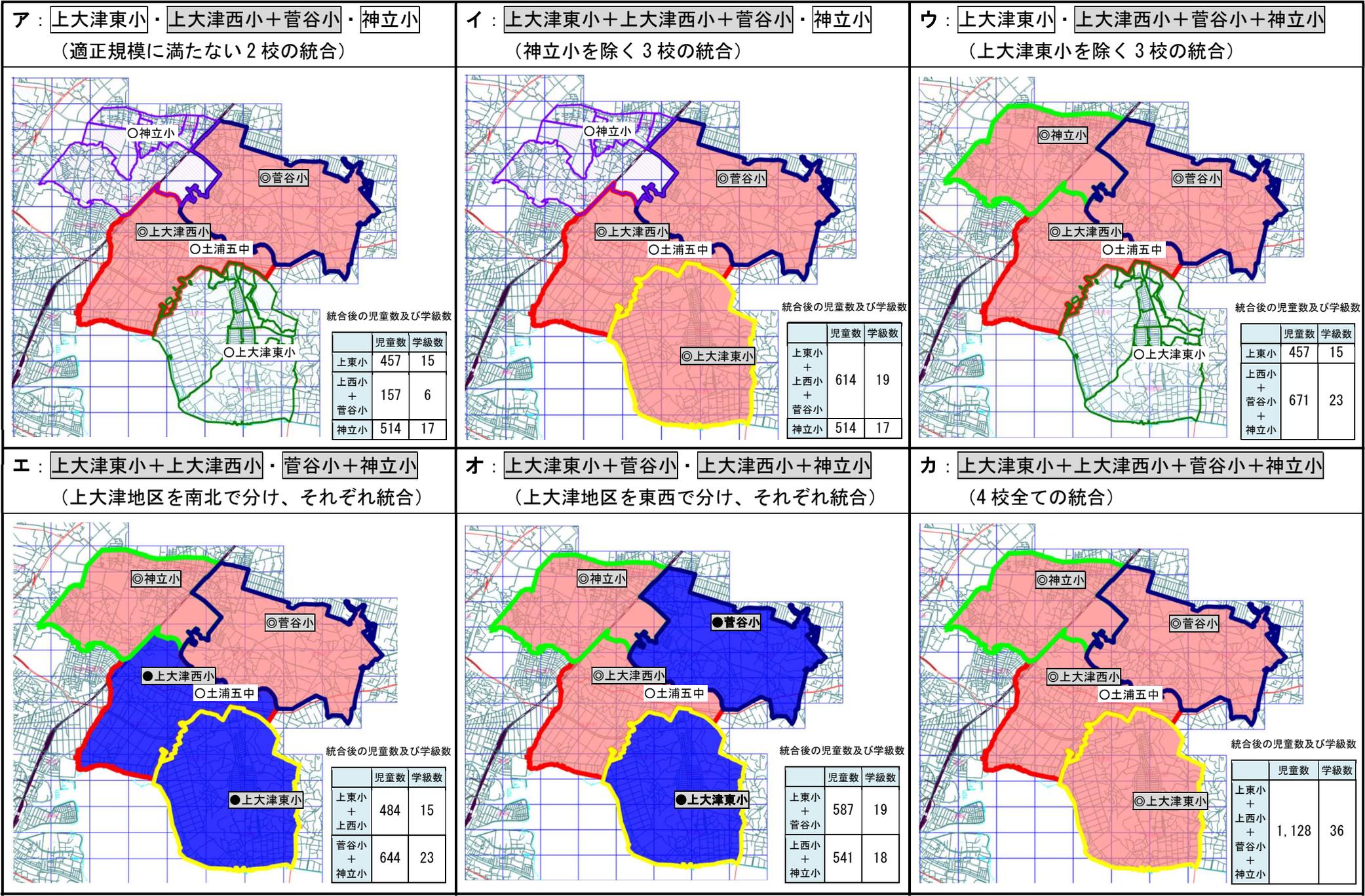
例2： 神立小の一部（神立中央一丁目～四丁目）を  
菅谷小の通学区域とする。



通学区域見直し後の  
児童数及び学級数

	児童数	学級数
菅谷小	279	11
神立小	365	12

●方策2 隣接する学校との統合（想定される統合パターン）



## 第2回検討委員会の主な意見等について

No.	主な意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成36年度の上西小の児童数については、戸崎原地区の児童も含まれているのか。また、今後の戸崎原地区児童の展望を伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>含まれていません。</li> <li>かすみがうら市では平成28年度に小学校の統廃合があり、戸崎原地区も通学バス運行の対象地区となっているため、今後増えないと推測されます。(平成29年度時点では上西小に4名在籍)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸崎原地区の児童はどのように登下校しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者による送迎で登下校を行っています。〈委員回答〉</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校等において常磐線の横断は、子どもの安心安全のためには悩ましい。</li> <li>学区の見直しではなく、方策2や方策3で検討してくのがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>4校での統合は規模が大きくなりすぎることと常磐線横断による危険性、安全確保の面から、神立小は含めず3校での統合がいいと考える。</li> <li>3校での統合については、既存校舎の利用ではなく、五中付近に新設がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>神立小を除く3校での統合案に賛成である。</li> <li>おおつ野地区の住民は学校が近いということで土地を購入している方が多いと考える。既存校舎利用の場合には抵抗が大きいと考えられるが、新設校であればそういった抵抗も小さくなるのではと考える。おおつ野地区住民の意向を伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ住民の意見を聞いておりません。</li> <li>自治会をおおつ野5, 6丁目と7, 8丁目に分ける考えもあり、今後の総会等で自治会の件と合わせて議論の必要性を認識しております。〈委員回答〉</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>神立小を除く3校での統合案に一部賛成だが、新設するには財政的に困難をきたすのではないかと考える。</li> <li>4校の統合には賛同しない。神立小を含めなくて統合となると、上西と菅谷では適正規模を満たしていないことから、残る3校での統合がいいと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>

No.	主な意見等	回答・対応
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神立小を除く3校の児童について、小1～3年までを既存のどこかの小学校に、小4～6年を別の小学校に就学させ、五中の生徒が増加した際に、残りの小学校を利用してはどうかと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成36年度が新しい学校開校の目標では遅い。</li> <li>・上西小の複式は早期に解消する必要があるため、まずは上西小と菅谷小を統合させることを考え、その後上大津全体を考えてもいいのではと考える。</li> <li>・複式学級を経験したこともあるが、かなり不都合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上西小の保護者の中では、上西小と菅谷小を統合させ、スクールバスで通学するといった意見が多くなってきている。</li> <li>・上西小の保護者及び子供たちは平成36年度まで待ってられない。</li> <li>・上西小としては、何らかの合併をしていただき、複式学級の早期解消を望んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の説明会時に学校を作るときに国から補助金が出ると伺ったが、どの程度なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、補助対象になる部分の1/3が国から出ます。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上西小については早期に対応をした方がよい。</li> <li>・適正配置の事業に合わせてしまうと遅くなってしまうのではないかと考える。通学区の変更等、早期にできることはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上西小については、早急な対応が必要だと考えております。</li> <li>・この検討委員会において、上大津全体の方角性についての提言は約2年後にいただくこととなっておりますが、上西小の早期対応について、最終提言の前に中間報告ということで市の方に話をいただくこととなれば、市もそれに基づいて対応していきます。</li> </ul>

No.	主な意見等	回答・対応
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校では行事が多くあり、登下校の時間も変わるので、大人数（例えば平成36年度の上東小の児童数見込み457名全て）をバスで移動させるのは現実的に厳しい。バスで移動させる児童はできるだけ少なくした方がいいといった考えで話し合いを進めた方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見として頂戴し、検討いたします。</li> </ul>
1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正配置の進め方について、事務局は考えを持っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で具体的にこれだという結論ではありませんが、適正配置の3つの方策のうち、「方策1：通学区域の見直し」については、上大津地区の小学校すべてを適正規模とすることが難しいこと、また、地域コミュニティへの影響が大きいことから、ハードルが高いと考えております。そのため、上大津地区の適正配置を今後より具体的に考えていく中では、「方策2：隣接する学校との統合」又は「方策3：学校の再編成・新設」での考え方が大きいと考えております。</li> <li>適正配置を進める上で地域の合意形成が一番難しいと考えております。今後地域での説明会も実施しますが、委員の皆様には地域のリーダーとしてこれからもご協力をいただければと思います。</li> </ul>